



迎春

年頭のごあいさつ

魅力ある村づくりを目指して

東秩父村長 足立 理助

村民の皆さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆さまには日頃より村政の執行にあたり、温かいご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は昭和31年に大河原村と槻川村が合併し、「東秩父村」が誕生して60年という節目を迎えた年でありました。記念式典を催すにあたり、各方面の方々にご出席いただき、盛大

に挙行できませんでしたことに厚くお礼申し上げます。また、式典終了後には和紙の里リニューアルオープン式典およびイベントも盛会のうちに終了することができました。61年目という本年に、新たな気持ちで一歩を踏み出す

新年ごあいさつ

新年おめでとうございます。

輝かしい平成29年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。また、村民の皆さまには日頃より議会活動に対し、深いご理解とご協力をいただき議員一同心よりお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、リオデジヤネイロ五輪では日本選手の大活躍は私たちが勇気づけ、楽しませてくれました。また日本経済は緩やかに成長しつつも、地方ではその実感が湧かない状況

3000人を下回りました。高齢化が進み、若者の村離れも深刻な問題となっております。今後は総合戦略に基づき、「空き家バンク」制度等も活かした定住促進を図るとともに子育てを行う保護者の皆さまにも生活のしやすさを実感していただけるよう、より活気にあふれ魅力ある村づくりを本年も引き続き目指してまいります。

しかし、本村の人口の減少は歯止めがきかず、昨年の12月現在の住民基本台帳人口はついに

にあると感じています。また高齢者による交通事故の多発や東北、北海道地方を直接襲った台風10号は大きな被害をもたらし、また熊本地震は甚大な被害で、今なお避難生活されている方を思うと、一日も早く元の生活に戻れるよう願っています。幸い

当村では災害に遭うことなく一年を過ごすことができましたが、いつ起こることも知れない大地震や集中豪雨に対する備えは、村として真剣に取り組む必要があ

ると考えています。東秩父村は昨年、和紙の里をリニューアルし、道の駅として新たなスタートをしました。これは地方創生事業の一貫として、大きな事業展開を図りました。現在集客数は増加していますが、この状況が工夫や改善を行い、維持発展に繋がるよう議会として積極的に協力したいと考えています。

東秩父村議会議長 高野 貞宜

と考えると、知恵を出し合い

が一体となつて、知恵を出し合い行財政運営にあたるのが重要と考え、その役割と責任を果たし、村政発展のために最大限の努力をする所存です。どうか本年も変らぬご支援とご理解をたまわりますよう、お願い申し上げます。皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

県内唯一の村として、財政が厳しいなか、議会と行政と住民